

平成27事業年度

# 決算報告書

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

国立大学法人総合研究大学院大学

平成 27 年度 決算報告書

国立大学法人総合研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,800	1,829	30	(注 1)
施設整備費補助金	-	-	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	11	11	-	
自己収入	263	220	△ 43	
授業料、入学料及び検定料収入	258	216	△ 42	(注 2)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	5	4	△ 2	(注 3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	73	71	△ 1	(注 4)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
目的積立金取崩	27	-	49	(注 5)
計	2,174	2,209	34	
支出				
業務費	2,090	2,102	12	
教育研究経費	2,090	2,102	12	(注 6)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	11	11	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	-	-	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	73	70	△ 3	(注 7)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	2,174	2,183	9	
収入－支出	-	25	25	

(注) 決算報告書の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金収入の差異については、予算段階では未確定であった特別経費「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠」の追加配分(5百万円)及び特別運営費交付金「教育改善推進枠」(27百万円)が交付されたこと、特別経費「プロジェクト分」前年度からの繰越額が予算段階よりも少なかったこと(△2百万円)によるものです。
- (注 2) 授業料、入学料及び検定料収入の差異については、特別運営費交付金「教育改善推進枠」の交付に伴う授業料免除の拡大及び休退学者数の増加による授業料収入の減少(△34百万円)、入学者数が予算段階の予定数を下回ったことによる入学料収入の減少(△7百万円)、出願者数が予算段階の予定数を下回ったことによる検定料収入の減少(△1百万円)により予算金額に比して決算金額が42百万円少額となっております。
- (注 3) 雑収入については、予算段階よりも職員宿舍入居者の減少に伴う財産貸付料収入の減少及び博士論文審査手数料収入等が減少したことにより、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっております。
- (注 4) 予算段階で見込んでいたよりも寄附金収入が1百万円多額、受託研究等収入が△1百万円、科学研究費補助金間接経費収入が△1百万円少額であったため、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっております。
- (注 5) 目的積立金取崩額については、予算段階で未定となっていた平成26事業年度決算剰余金を財源とした事業を実施したため、49百万円多額となっております。
- (注 6) 業務費については、当初の見込みと比べて退職手当支給額の減少(△18百万円)、旅費等の節減(△1百万円)、教職員採用計画の見直し及び超過勤務の減少による人件費の減少(△2百万円)及び収入欠損額(△16百万円)等があったものの、予算段階で未定となっていた平成26事業年度決算剰余金を財源とした事業(49百万円)を実施したため、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっております。
- (注 7) 受託研究費の受入減少及び寄附金の支出の減少により、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっております。